

内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 22 年 4 月東北分 (新潟を含む東北7県) について

1. 今月のDI※

(1) 現状判断(方向性)DI

3か月前との比較である現状判断DIは、49.4(前月比+3.2ポイント)と、5か月連続して前月を上回るものの、横ばいを示す50を平成19年4月以降37か月連続で下回った。

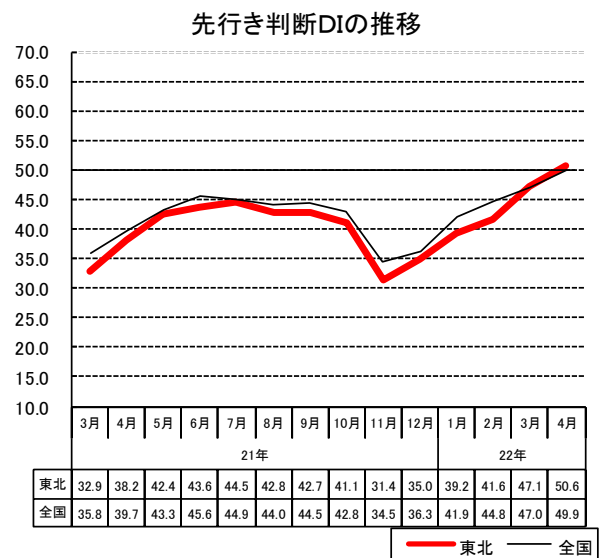
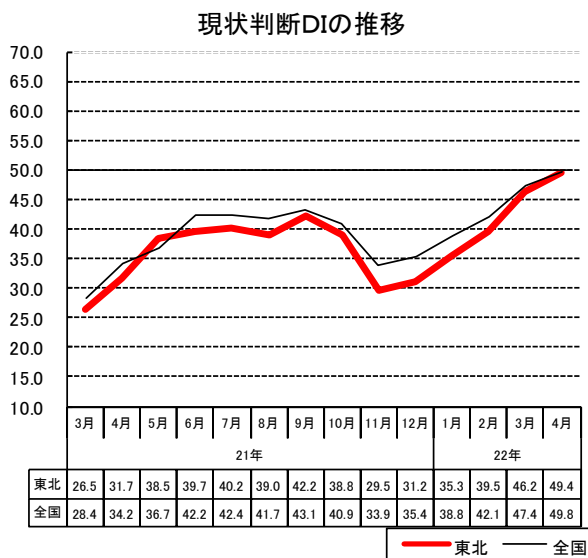
	21年											22年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
東北現状	26.5	31.7	38.5	39.7	40.2	39.0	42.2	38.8	29.5	31.2	35.3	39.5	46.2	49.4	
家計動向関連	29.3	33.8	40.3	39.6	39.1	36.9	42.0	37.1	27.4	29.5	34.3	38.4	45.4	46.9	
企業動向関連	26.3	32.1	38.4	42.1	47.0	46.3	40.9	43.1	35.3	35.0	40.6	43.9	49.4	56.9	
雇用関連(参考)	9.1	15.8	26.3	35.7	34.5	38.1	46.3	41.7	32.1	35.7	32.1	37.5	45.5	51.2	

(2) 先行き判断DI

3か月先を予想する先行き判断DIは、50.6(前月比+3.5ポイント)と、5か月連続して前月を上回り、依然として「横ばい」を示す50を36か月ぶりに上回った。

	21年											22年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
東北先行き	32.9	38.2	42.4	43.6	44.5	42.8	42.7	41.1	31.4	35.0	39.2	41.6	47.1	50.6	
家計動向関連	35.5	40.6	43.1	42.4	43.1	42.3	42.5	40.4	30.9	33.6	38.3	40.3	46.5	50.4	
企業動向関連	28.8	34.0	42.7	47.0	47.0	45.0	42.1	41.9	32.1	36.9	45.0	45.1	48.1	50.6	
雇用関連(参考)	23.9	30.3	37.5	44.0	48.8	41.7	45.0	44.0	33.3	40.5	33.3	43.8	48.9	52.4	

※DI(Diffusion Index)について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。



景気ウォッチャーの判断によれば、東北地域の景気は、
依然として厳しいものの、一部に持ち直しの動きがみられる、とのことである。

2. 調査の概要

調査期間 平成22年4月25日～平成22年4月30日

回答者数 198/210名、回答率94.3%（全国1,850/2,050名、90.2%）

3. 特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（人材派遣会社）…採用を凍結している企業が、採用を再開する動きが出てきている。

○「やや良くなっている」

（商店街）…天候不順の影響で春物衣料や物販の動きは悪いものの、東北新幹線の延伸を見越した飲食関係の出店が活発になっており、中心街区の空店舗が埋まりつつある。

（百貨店）…好調な食品やリビングの催事に加えて、ミセス部門と特選部門の来客数が今月に入って増加している。

（衣料品専門店）…買い控えて我慢していた消費者が買物に走っており、3か月前に比べて来客数は増加している。

（家電量販店）…地上デジタル放送に対応したテレビの需要により、テレビ部門の売上が増えている。

（都市型ホテル）…天候不順や降雪の影響で、観光スポットの開花が例年に比べて伸びているため、昼食や宿泊客の増加につながっている。

（その他住宅[リフォーム]）…大規模なリフォームの問い合わせが増加している。

（木材木製品製造業）…住宅着工が比較的堅調なため、部材の販売単価、収益性共に改善している。

（一般機械器具製造業）…為替が比較的円安で推移し、自動車部品の受注が計画値を上回って推移している。

（電気機械器具製造業）…半導体関連の需要が増加したため、3か月前に比べて製品価格が上昇している。

（建設業）…着工を延期されていた工事が再び動き始め、工事の指名件数や出件数が増加している。

（金融業）…製造業への業況調査では、操業が上向いているとの回答が得られている。

○「変わらない」

（スーパー）…珍しい商品や付加価値のある商品への消費マインドが回復しており、買上点数は回復傾向にある。一方、天候不順で高騰した野菜を値引き販売しても、利益商材の買物につながらず、客単価が低迷している。

（コンビニ）…依然として好調なプライベートブランド商品に加えて、ナショナルブランド商品の販売が回復傾向にあるため、来客数、客単価共に前年並みに回復している。

（衣料品専門店）…低温の日が多い影響で、春物衣料への需要、来客数共に低迷している。

(乗用車販売店)…エコカー減税や補助金制度が延長された影響で、好調な販売が続いている。
(ガソリンスタンド)…メーカーからの売値が日ごとに変動するため、厳しい店舗経営が続いている。
(高級レストラン)…前年に比べると来客数は増加しているものの、収益が改善していない。
(旅行代理店)…販売単価は低迷しているものの、旅行の受注状況は回復傾向にある。
(タクシー運転手)…歓送迎会や花見に期待したものの、売上は依然として低迷している。
(設計事務所)…住宅関係の計画はあるものの、受注につながっていない。
(食料品製造業)…天候不順の影響はあるものの、受注量は回復傾向にある。
(広告業協会)…旅行業者が開催する旅行説明会への客足が回復傾向にある。また、遊技場関係がマスメディア広告を積極的に利用するようになっている。
(コピーサービス)…利益は低迷しているものの、引き合いが増えているため、得意先の様子は明るくなっている。
(職業安定所)…新規求人数は増加傾向にあるものの、常用の新規求人数は前年を下回っている。

○「やや悪くなっている」

(商店街)…天候不順や野菜価格の高騰が影響して、商店街では3か月前に比べて売上が落ち込んでいる。
(酒販売店)…野菜価格の高騰が消費者の買い控えを強めており、取引先の飲食店には耐えきれずに閉店に追い込まれる店が増えている。
(一般レストラン)…売上が大きく落ち込む日があり、全体的な客単価、販売量共に3か月前に比べて減少している。
(新聞販売店[広告])…地元業者は経営が厳しく、店内掲示やレジでのチラシ配布などで費用削減を続けているため、例年に比べて広告依頼の投稿数が減少している。

○「悪くなっている」

(遊園地)…季節外れの雪や寒さが影響して、来客数が前年を大幅に下回っている。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(人材派遣会社)…企業からの求人問い合わせが増加傾向にある。

○「やや良くなる」

(医薬品販売店)…週末に限ると繁華街で人通りが回復しており、売上回復の兆しがみられる。
(百貨店)…買物全般を節約する買い方から、必要な買物にはお金をかける買い方に変わってきており、夏物衣料など今後の消費に期待できる。
(家電量販店)…エコポイント制度の効果がエアコンにも波及するため、季節商材の動きに期待できる。
(乗用車販売店)…自治体のエコカー購入補助金の申請期限が近づき、駆け込み需要が見込まれる。
(高級レストラン)…来店客の様子では景気の底を脱しており、今後は緩やかながら景気回復が期待できる。

(建設業) …凍結されている設備投資にも動きがみられ、また着工計画情報が増加している。

○「変わらない」

(医薬品販売店) …子ども手当の支給は消費のプラス要素になるものの、混沌とした世相は消費者の先行き不安につながる懸念がある。

(スーパー) …必要な物以外は消費者の買い控えが続いており、景気の上向きは期待できない。

(コンビニ) …セールや新商品の投入にも消費者の反応が弱く、厳しい店舗経営はしばらく変わらない。

(衣料品専門店) …学生向け商材でさえ動きが悪いため、家庭全般での節約志向はなかなか回復しない。

(乗用車販売店) …車検や定期点検でも価格競争が強まっており、景気の回復には程遠い。

(一般レストラン) …来客数が増えて忙しくなる日はあるものの、客からは不景気の話が多く、先行きに明るさはみられない。

(観光型ホテル) …来客数の減少は底を打っているものの、ガソリン価格の上昇や高速道路料金の見直しによる影響が懸念される。

(都市型ホテル) …先行予約からは下げ止まりが感じられ、今後の売上が期待できる。

(旅行代理店) …団体旅行の先行受注は増加しているものの、個人旅行は国内、海外共に前年を割り込んでいる。

(一般機械器具製造業) …エコカー購入補助金の終了による需要減は懸念されるものの、自動車部品の受注は今後も比較的堅調に推移する。

(職業安定所) …建設業などでは雇用調整を実施する中小企業が増えており、業種や企業規模等で業況の格差が広がりつつある。また、新卒者向け企業説明会の参加予定社数は低調に推移している。

○「やや悪くなる」

(酒販売店) …たばこの値上げが発表になり、禁煙による売上への影響が懸念される。

(靴販売店) …参議院選挙など景気の先行きは不透明である。

(遊園地) …ゴールデンウィークのアルバイト募集にも例年を上回る応募があり、雇用情勢や地域経済はしばらく厳しくなる。

(自動車整備業) …消費者には先行き不安が続いており、金融緩和や子ども手当が支給されても、消費にはつながらない。

(住宅販売会社) …受注件数に占める低価格住宅の割合が高く、売上額の伸びにつながらない。

(農林水産業) …天候不順の影響で、米の作付け遅れや減収が懸念される。

(食料品製造業) …商談では低価格商品の提案を要望されることが多く、市場の低価傾向はしばらく続く。

(電気機械器具製造業) …受注回復は一時的であり、収益が厳しい取引先は増加している。

○「悪くなる」

(茶販売店) …所得の減少による生活保護受給者が増加しており、先行き不安は更に強まる。
東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。 以 上